公益社団法人日本語教育学会

2026年度秋季大会

賛助団体会員出展ブース

活動紹介・書籍紹介・教材紹介等

日時：2026年11月28日（土）14:50～15:50

会場：オンライン（Zoom）

注意事項

参加にあたっては、秋季大会事前参加登録が必要です。11月15日までに参加登録をお済ませください。

iJapan株式会社

「企業現場が求める「話す力」とJLPTのギャップをどう埋めるか？」

ACTFLのオンライン・スピーキングテスト「OPIc」による口頭運用能力（Can-do）の可視化とCEFR証明書の活用をご提案します。企業とのミスマッチ解消や認定校の外部指標導入にお役立てください。

（※同内容で30分×2回実施／途中参加可）

株式会社 アスク出版

二部構成で新刊書籍のご紹介をします！

1．『イラストと図解でスッキリわかる！日本語教育の参照枠』
著者の金田智子先生、島田徳子先生から本書の概要、「日本語教育の参照枠」に関するご解説！

2．『マルコといっしょに 生活者のための日本語コミュニケーション』
コンセプト、活用法の解説で、著者の藤森弘子先生、前田真紀先生、高村郁子先生がご登壇！

株式会社 アルク

前半：『未来を歩く日本語上級教材　クエスト』
「学習者が、未来をしっかりと自分の力・日本語で歩んでいけるように」という思いから生まれた、上級向け日本語総合教科書を著者陣がご紹介します。

後半：『はじめよう！人とつながる生活の日本語』
人や地域などとのさまざまな「つながり」を大切にした、これから日本で生活を始める外国人向け入門レベルのテキストを著者がご紹介します。

公益社団法人 国際日本語普及協会

2027年刊行予定のコミュニケーションを重視した会話の教材をご紹介します。
「日本語教育の参照枠」B1レベルの「方略Can-do」と「活動Can-do」を組み合わせ、どんな場面で何ができるようになるかを目標として示し、そのための方略や表現を学び、対応力を身につける教材です。
お気軽にご参加ください。

株式会社 サインウェーブ

Zoomセッションでは日本語学習アプリ『Nihon-GO!R（ニホン・ゴー！）』の特徴や機能をご紹介します。AIによる発話採点、日本語能力試験対策、Can-doに基づく会話練習・評価、学習管理など実際の画面をお見せしながら詳しくご説明いたします。
お気軽にご参加ください。

一般財団法人 日本国際協力センター

JICEは、来年度の育成就労制度の運用開始に向け、厚生労働省事業において「育成就労モデルカリキュラム」を作成しました。「A1相当講習」「A2目標講習」のモデルカリキュラムの概要やシラバスの構成に加え、モデル活用のための教室活動例・評価ツールなどを含むサンプル集についてご案内します。
ぜひお気軽にご参加ください。

株式会社 凡人社

新刊『日本語×世界の課題を学ぶ 日本語でPEACE［Action for Community Engagement 上級］』の教材紹介を行います。
著者の小林明子先生・奥野由紀子先生に、コンセプトや構成、使い方についてお話しいただきます。
（30分のセッション×2回を予定）

書籍の割引販売（全品1割引）のご案内もいたします。

合同会社 Logos

「日本語教育のためのAIアプリ開発」
合同会社Logosでは、第二言語習得研究の知見に基づく日本語教育用AIアプリを試作しています。ブースでは、会話練習アプリや訂正フィードバック練習アプリのデモをご体験いただけます。あわせて、研究知見をアプリの設計に落とし込む開発手順をご紹介します。現場の教育実践に生かすヒントを、ぜひお持ち帰りください。

独立行政法人 国際交流基金

事業紹介および教材紹介を行います

お問い合わせ

公益社団法人日本語教育学会

office@nkg.or.jp　https://www.nkg.or.jp

03-3262-4291